

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年3月23日

【事業年度】 第68期(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

【会社名】 株式会社武蔵カントリー倶楽部

【英訳名】 Musashi Country Club Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野間 省 伸

【本店の所在の場所】 埼玉県入間市大字小谷田961番地

【電話番号】 04 - 2962 - 4151(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部経理課課長 山 崎 優

【最寄りの連絡場所】 埼玉県入間市大字小谷田961番地

【電話番号】 04 - 2962 - 4151(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部経理課課長 山 崎 優

【縦覧に供する場所】 該当事項なし

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期
決算年月	2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月	2025年12月
売上高 (千円)	1,349,285	1,399,509	1,416,976	1,511,604	1,463,469
経常利益 (千円)	190,289	108,908	70,185	208,468	107,200
当期純利益 (千円)	135,313	68,803	38,669	65,252	66,156
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)					
資本金 (千円)	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
発行済株式総数 (株)	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
純資産額 (千円)	1,195,371	1,264,175	1,302,844	1,368,097	1,434,253
総資産額 (千円)	11,825,966	11,994,346	12,063,436	12,314,237	12,368,087
1株当たり純資産額 (円)	664,095	702,319	723,802	760,054	796,807
1株当たり配当額 (円)					
(内1株当たり中間配当額) (円)	( )	( )	( )	( )	( )
1株当たり当期純利益金額 (円)	75,174	38,224	21,482	36,251	36,753
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)	10.1	10.5	10.8	11.1	11.6
自己資本利益率 (%)	11.3	5.4	3.0	4.8	4.7
株価収益率 (倍)					
配当性向 (%)					
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	349,611	218,292	185,830	403,923	155,190
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	244,209	589,334	156,011	597,675	301,351
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	157,300	86,300	43,200	117,900	51,600
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	750,174	465,432	538,451	462,599	368,038
従業員数 (人)	60	60	63	61	61
(外、平均臨時雇用者数) (人)	(181)	(186)	(183)	(179)	(175)
株主総利回り (%)					
(比較指標： ) (%)	( )	( )	( )	( )	( )
最高株価 (円)					
最低株価 (円)					

(注) 1 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第65期の期首から適用しており、第65期以降に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を適用した後の指標等となっております。

2 当社は連結財務諸表を作成していないので、「最近5連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移」については記載しておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5 配当性向については、配当を実施していないため記載しておりません。

6 株価収益率、株主総利回り、比較指標、最高株価及び最低株価については、非上場のため記載しておりません。

## 2 【沿革】

当社並びに武蔵カントリークラブの沿革は、次のとおりであります。

年月	概要
1958年4月21日	会社設立
1959年7月12日	豊岡コース開場
1959年11月22日	笹井コース開場
1960年7月13日	関東ゴルフ連盟及び財団法人日本ゴルフ協会に加入
1970年9月30日～10月2日	笹井コースで第35回日本オープンゴルフ選手権競技開催
1979年9月24日～25日	笹井コースで第1回日本シニアゴルフ選手権競技開催
1982年10月28日～31日	豊岡コースで第47回日本オープンゴルフ選手権競技開催
1989年6月29日～7月2日	豊岡コースで第22回日本女子オープンゴルフ選手権競技開催
1993年7月26日	笹井コース、コーライグリーンのベント化工事完了
1994年6月23日～26日	笹井コースで第27回日本女子オープンゴルフ選手権競技開催
1996年10月24日～25日	豊岡コースで第4回日本女子シニアゴルフ選手権競技開催
1997年9月15日	豊岡コース、コーライグリーンのベント化工事完了
1999年7月11日	笹井コース、新進入路完成
2001年5月31日	笹井コース、クラブハウス補修工事完了
2006年9月15日	豊岡コース、新クラブハウス完成
2009年10月15日～18日	豊岡コースで第74回日本オープンゴルフ選手権競技開催
2014年3月31日	笹井コース、コース改造工事完了・新クラブハウス完成
2018年9月20日～23日	笹井コースでアジアパシフィックオープンゴルフチャンピオンシップ ダイヤモンドカップゴルフ2018開催

### 3 【事業の内容】

#### (1) 会社の目的

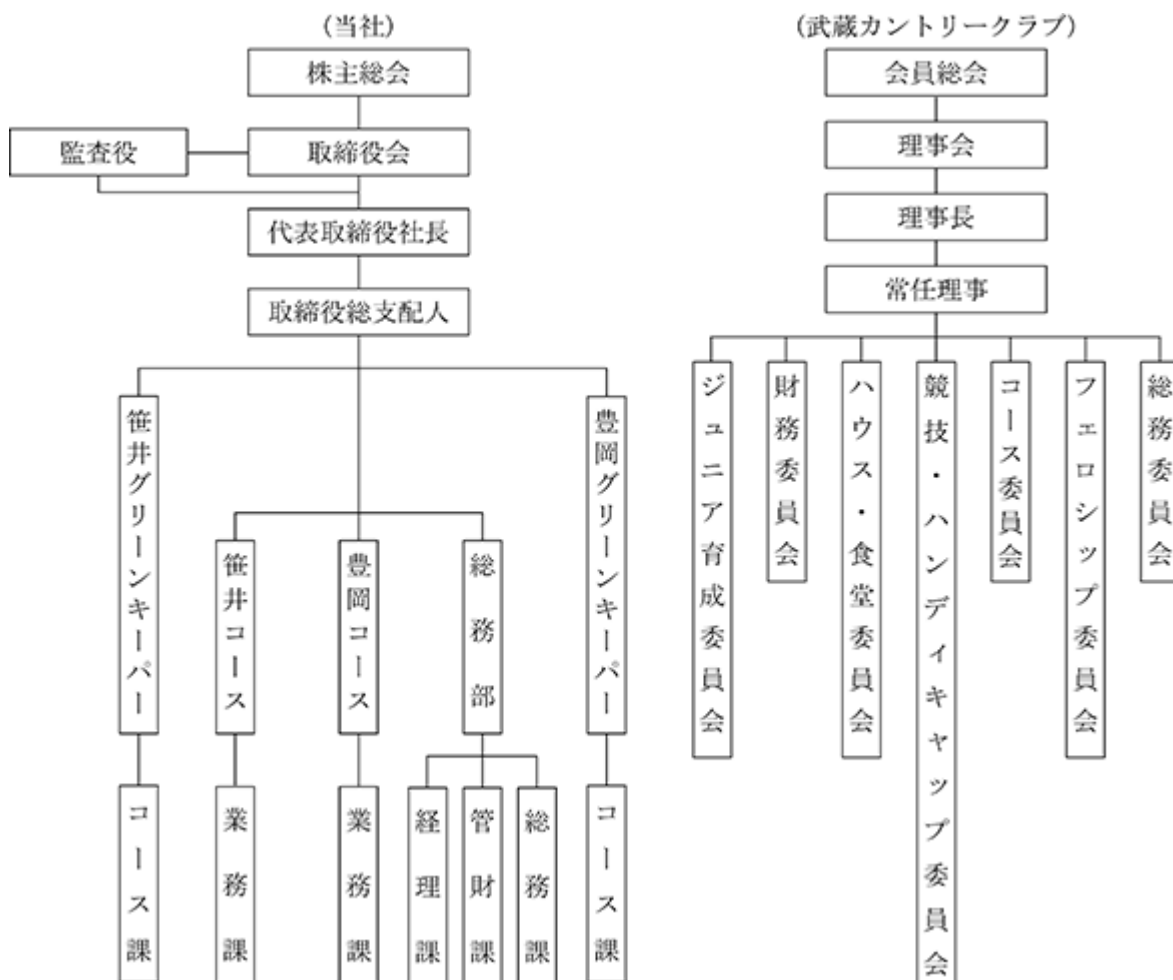
- 1 ゴルフ場及びその附帯施設の所有及び経営
- 2 食堂経営
- 3 ゴルフ用品その他の物品の販売
- 4 前各号に附帯する事業

#### (2) 事業の内容

当社の事業はゴルフ場を運営し、これを武蔵カントリークラブ会員及び会員が伴う者に利用せしめる事を目的としております。現在は豊岡コース、笹井コース各18ホール2コースを所有運営しておりますが、両コースとも会員は勿論一般世評も良好であります。

武蔵カントリークラブは人格なき社団で、会員の入会、退会並びにゴルフ場の運営に関する一切の件を審議・決定し、当社はこれを執行いたします。

なお、当社の株主は、武蔵カントリークラブに入会しなければ当社のゴルフ場の利用ができません。当社並びに武蔵カントリークラブの経営組織は次のとおりであります。



#### 4 【関係会社の状況】

該当事項はありません。

#### 5 【従業員の状況】

##### (1) 提出会社の状況

2025年12月31日現在

従業員数(人)	平均年齢	平均勤続年数	平均年間給与(千円)
61(175)	46歳7ヶ月	15年9ヶ月	4,641

- (注) 1 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は、年間の平均人員を(外書)で記載しております。  
2 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトの従業員を含み、派遣社員を除いております。  
3 平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおります。  
4 当社は、ゴルフ事業の単一のセグメントであるため、セグメント情報ごとに記載しておりません。

##### (2) 労働組合の状況

当社の労働組合は、武蔵カントリー倶楽部労働組合と称し、当社の従業員をもって構成され、2025年12月31日現在の組合員数は2名であります。

なお、労使関係については円滑な関係にあり、特筆すべき事項はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

当社の経営方針、経営環境及び対処すべき課題等は、次のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項は、当事業年度末現在において、当社が判断したものであります。

#### (1) 経営方針

株式会社武蔵カントリー倶楽部の取締役会と株主会員制の武蔵カントリークラブの理事会は、基本的に一体であり、当社の経営方針は、クラブの経営理念である「会員の、会員による、会員のためのクラブ」及び「伝統と文化の継承」の実現に向けて、経営資源の最適化、効率化を図り、円滑なゴルフ場運営を継続していくこととしております。

#### (2) 経営環境

近年の天候不順や、比較的ゴルフ愛好家の多い団塊の世代が後期高齢者となることにより、ゴルフ人口は減少するおそれがあります。さらには、資材・諸経費の上昇や深刻な人手不足など、様々な構造的変化も起きております。このような不安要素があるため、当社の経営環境の認識としては、今後も先行きが見通しにくい状況が続くと考えております。

#### (3) 対処すべき課題

（猛暑への対応について）

近年の猛暑は、より深刻さを増しており、来場者、従業員、コース保全など、各方面からの対策が必要となっております。当事業年度から、コースメンテナンスに充てるため夏期休場日を増やした他、一部競技の開催時期変更、屋外従事者への空調ベストの配布、熱中症対策の義務化に伴うキャディの休憩スペース設置などの対策を講じました。また、営業面では、この数年で夏期の来場者の減少が顕著になってきていることから、特別委員会（猛暑対策プロジェクトチーム）を発足させ、プレー環境の改善や安全性の向上について検討を進めてまいります。

（運営環境の構造的変化について）

昨今のゴルフ場運営は、天候不順、ゴルフ人口の減少に加え、運営コストの増加、人手不足等の雇用環境の変化及びハラスメント問題など、様々な課題に直面しております。武蔵カントリークラブでも対処すべき構造的変化に適應するため、従来のクラブ運営の見直しに向けた検討を早急に進める必要があります。引き続き業務の効率化を推進すると共に、働きがいのある職場を維持し、人材の確保と育成を図り、クラブの伝統と文化の継承に努め、会員およびご来場の皆様の信頼と期待に応えてまいります。

### 2 【サステナビリティに関する考え方及び取組】

当社のサステナビリティに関する考え方及び取組は、次のとおりであります。

なお、文中に関する事項は、当事業年度末現在において当社が判断したものであります。

#### (1) ガバナンス

当社のガバナンスは、武蔵カントリークラブが定める運営規則等の規定に準拠して、目的を達成するために当社役員が誠実に業務執行を行い、定期的開催される分科委員会、理事会及び取締役会において詳細な業務報告を通じて担保しております。

#### (2) 戦略

運営環境の構造的変化に対する方針、戦略

ゴルフ人口の多くを占める年齢人口は、人口減少及び高齢化により確実に減少していくものと予想されます。また、諸物価の高騰、人件費の上昇、さらには人材の確保は、より一層厳しさを増しております。これらを構造的変化と捉え、長期的な視点に立った対応を今後も進めてまいります。

人材の育成及び社内環境整備に関する方針、戦略

従業員の定着に向けて働きがいのある快適な職場環境を整備していくよう努めてまいります。また、働き方に対する規制や意識の変化を踏まえ、適切な人材の確保と育成を図っていく方針であります。

(3) リスク管理

当社では、リスクの特定・評価を適切に行い、事業に与える影響について速やかに取締役会及び理事会に報告しております。これらの内容は、各部署及びクラブとも共有されており、リスク管理の徹底に取り組んでおります。

(4) 指標及び目標

当社は、事業の特性から指標及び目標を記載しないこととしております。

### 3 【事業等のリスク】

有価証券報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクは、以下のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項は、当事業年度末現在において、当社が判断したものであります。

(1) 天候

当社の事業であるゴルフ場経営の業績は、猛暑、長雨、台風、降雪などの天候によって多大な影響を受けます。特に雪は、積雪量によっては何日もの間クローズせざるを得ない状況になる場合があり、その結果、来場者数や売上が減少するおそれがあります。

(2) 景気の動向

ゴルフ場業界は景気に大きく左右されます。景気の低迷は、来場者数の減少や客単価の下落などに繋がる可能性があります。

### 4 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容)

当事業年度における当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下、「経営成績等」という。）の概況並びに経営者の視点による当社の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次のとおりであります。

なお、文中における将来に関する事項は、当事業年度末現在において、当社が判断したものであります。

(1) 経営成績

当事業年度における当社は、コース管理上の観点から夏期休場日を増やしたことや、積雪等によるクローズにより、営業日数は、前事業年度に比べて2.5日減の293.5日（豊岡コース0.5日、笹井コース0.5日で換算）となりました。

来場者数については、営業日数が減少したことや、記録的な猛暑、繁忙期に雨が多かった影響などにより、会員は37,611名（前事業年度比1,640名減）、ゲストは19,441名（同年度比978名減）となり、総来場者数は、57,052名（同年度比2,618名減）となりました。コース別では、豊岡コースが29,421名（同年度比945名減）、笹井コースが27,631名（同年度比1,673名減）となりました。

売上高については、来場者数の減少により、業務収入は941,411千円（同年度比4.5%減）、食堂売店売上は、216,558千円（同年度比1.0%減）となりました。また、年会費収入は305,499千円（同年度比0.6%減）となりました。

売上原価については、来場者数に連動する費用の減少が人件費の増加を吸収したことなどにより、1,397,003千円（同年度比0.2%減）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費の増加、及び蛍光灯からLED照明への切り換え工事などにより、214,898千円（同年度比6.0%増）となり、営業損失は148,433千円（同年度比63.8%増）となりました。

営業外収益では、新入会員が85名（同年度比23名減）で、入会登録料は191,500千円（同年度比21.1%減）となりました。これに受取利息などを加えた営業外収益は、259,285千円（同年度比15.0%減）となり、営業外費用3,652千円を差し引いた経常利益は、107,200千円（同年度比48.6%減）となりました。

特別損失については、落雷被害による笹井コース受変電設備の復旧工事に伴う除却損1,695千円など、計5,647千円を計上しました。

その結果、税引前当期純利益は101,552千円（同年度比7.2%減）となり、法人税等30,086千円及び法人税等調整額5,309千円を計上し、当期純利益は66,156千円（同年度比1.4%増）となりました。

当事業年度は、来場者数や新規入会者数の減少により、収益は前事業年度を大幅に下回りました。その一方で、持続的な賃上げ、諸物価の高騰、猛暑対策などによってコストは増加傾向にあります。前事業年度の料金改定により一定の利益は確保できているものの、中長期的な視点で安定したクラブ運営を継続していくことが今後の課題となっております。当社は、引き続き安全で快適なコースコンディションとクラブライフを楽しんでいただけるよう、役職員一同これまで以上にきめ細やかなサービスの提供に努めていく所存です。

## (2) 財政状態

資産の部では、流動資産は前期末から817,797千円増加し、1,506,723千円となりました。これは主に、満期償還まで1年未満の債券を固定資産の投資有価証券から振り替えたことにより、有価証券が903,124千円増加したことによるものであります。

固定資産は前期末から763,947千円減少し、10,861,364千円となりました。これは主に、一部の債券が期限前償還となったことや、満期償還まで1年未満の債券を流動資産の有価証券に振り替えたことにより、投資有価証券が717,810千円減少したことによるものであります。

負債の部では、流動負債は前期末から59,004千円減少し、172,697千円となりました。これは主に、未払法人税等が32,113千円、未払消費税等が26,428千円、それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前期末から46,698千円増加し、10,761,136千円となりました。これは主に、新入会員からの入金により、会員預り金が51,600千円増加したことによるものであります。

純資産の部では、株主資本は前期末から66,156千円増加し、1,434,253千円となりました。これは当期純利益を66,156千円計上したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フロー

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ94,560千円減少し、368,038千円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における営業活動により得られた資金は、前事業年度から248,733千円減少し、155,190千円となりました。これは主に、固定資産売却損が未計上だったこと、未払消費税等が減少したこと、および法人税等の支払額が増加したことによるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における投資活動により使用した資金は、前事業年度から296,324千円減少し、301,351千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が減少したことによるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度における財務活動により得られた資金は、前事業年度から66,300千円減少し、51,600千円となりました。これは主に、会員預り金の入金による収入が減少したことによるものであります。

(4) 資本の財源及び資金の流動性

資本の財源及び資金の流動性につきましては、事業運営上必要な資金の流動性と資金の源泉を安定的に確保することを基本方針としております。

当社の主な資金需要は、設備投資等によるものであります。来期の設備投資として、笹井コースの5人乗り乗用カートの増車等を予定しております。

投資を目的とした資金需要につきましては、主として営業活動によるキャッシュ・フローによって調達しておりません。

(5) 重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた過程

当社の財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる会計基準に基づき作成されております。また、この財務諸表の作成にあたって、必要と思われる見積り及び当該見積りに用いた仮定は、合理的な基準に基づき作成しております。詳細につきましては、「第5 経理の状況 1 財務諸表等 (1) 財務諸表 注記事項」に記載しております。

## (クラブの概要)

## (1) 会員の種類

会員の種類	期末会員数(名)		会員の資格
	第67期末	第68期末	
名誉会員	2	2	クラブ名誉の象徴として理事会が推挙した者
特別会員			クラブ又は会社に功労のあった者で理事会が推挙した者
個人正会員	1,488	1,489	会社の株主で理事会が入会を承認し、所定の入会金及び会員預り金を払込んだ者
法人正会員	237	235	会社の株主である法人で理事会が入会を承認し、所定の入会金及び会員預り金を払込んだ者
個人平日会員	422	420	理事会が入会を承認し、所定の入会金及び会員預り金を払込んだ者
法人平日会員	36	37	法人で理事会が入会を承認し、所定の入会金及び会員預り金を払込んだ者
家族会員	83	84	個人正会員の妻又は子で理事会が入会を承認し、所定の入会金及び会員預り金を払込んだ者
計	2,268	2,267	

## (2) 利用料金等

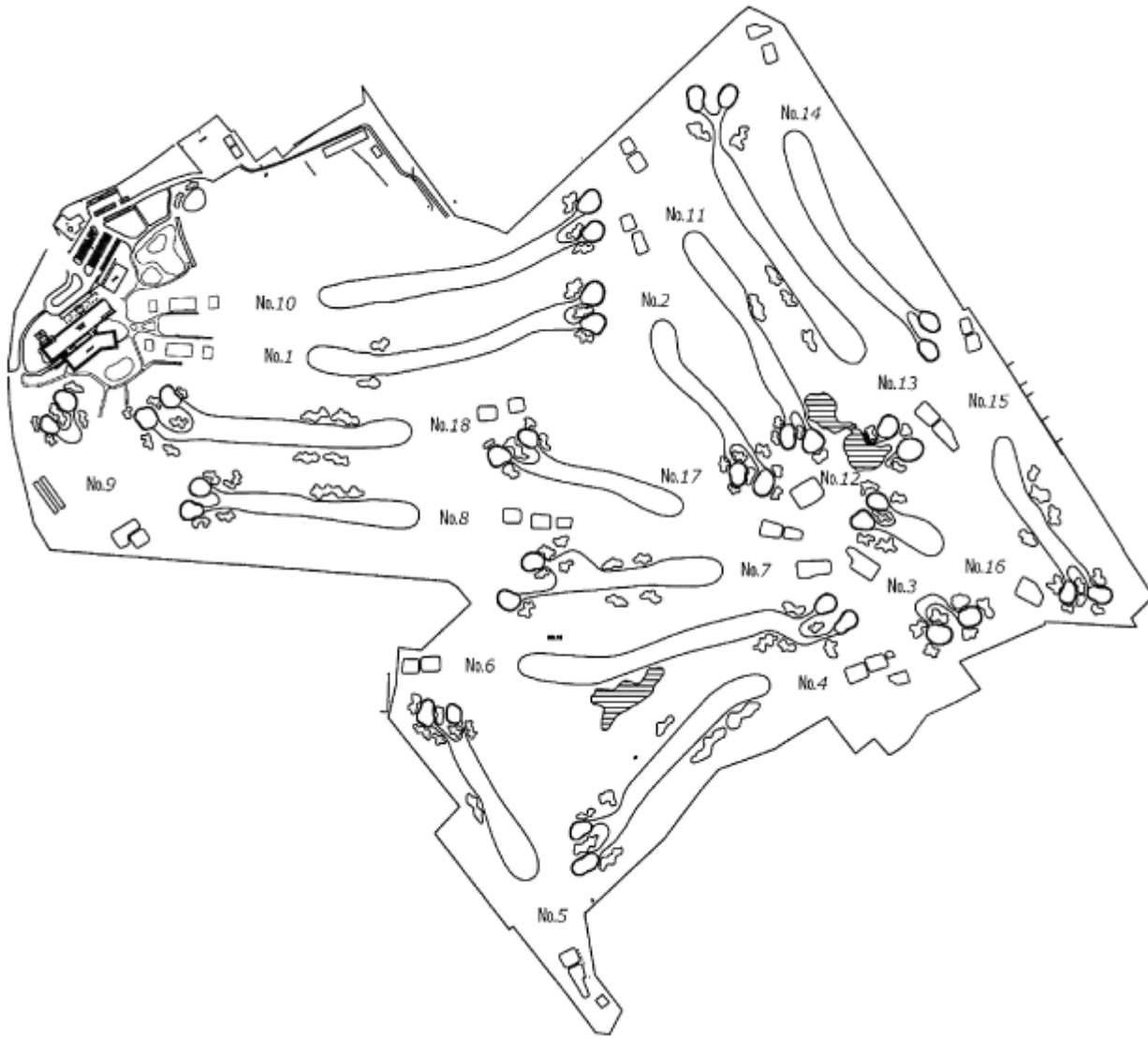
2025年12月31日現在

区分		第67期末	第68期末	備考
年会費	(円) 正会員	165,000	165,000	税込表示
"	(円) 平日・家族会員	132,000	132,000	"
"	(円) 在外会員	33,000	33,000	"
入会登録料	(円) 正会員	2,750,000	2,750,000	"
"	(円) 平日会員	2,200,000	2,200,000	"
"	(円) 家族会員	2,200,000	2,200,000	"
会員預り金	(円) 正会員	6,000,000	6,000,000	
"	(円) 平日会員	4,000,000	4,000,000	
"	(円) 家族会員	1,000,000	1,000,000	
メンバー料	(円)	2,750	2,750	税込表示
ゲスト料	(円) 平日	20,900	20,900	"
"	(円) 土曜・日曜・祝日	27,500	27,500	"
厚生料	(円)	2,760	2,760	"
ロッカー料	(円) 一人一日	230	230	"
練習ボール	(円) 24個入	250	250	"
キャディー料	(円) 3 バッグ～4 バッグ	5,830	5,830	"
ゴルフ場利用税	(円)	1,200	1,200	

## (3) ゴルフコースの配置・距離

当社のゴルフコースは、都心より比較的近い地域に位置していると共に、平坦な林間コースであります。

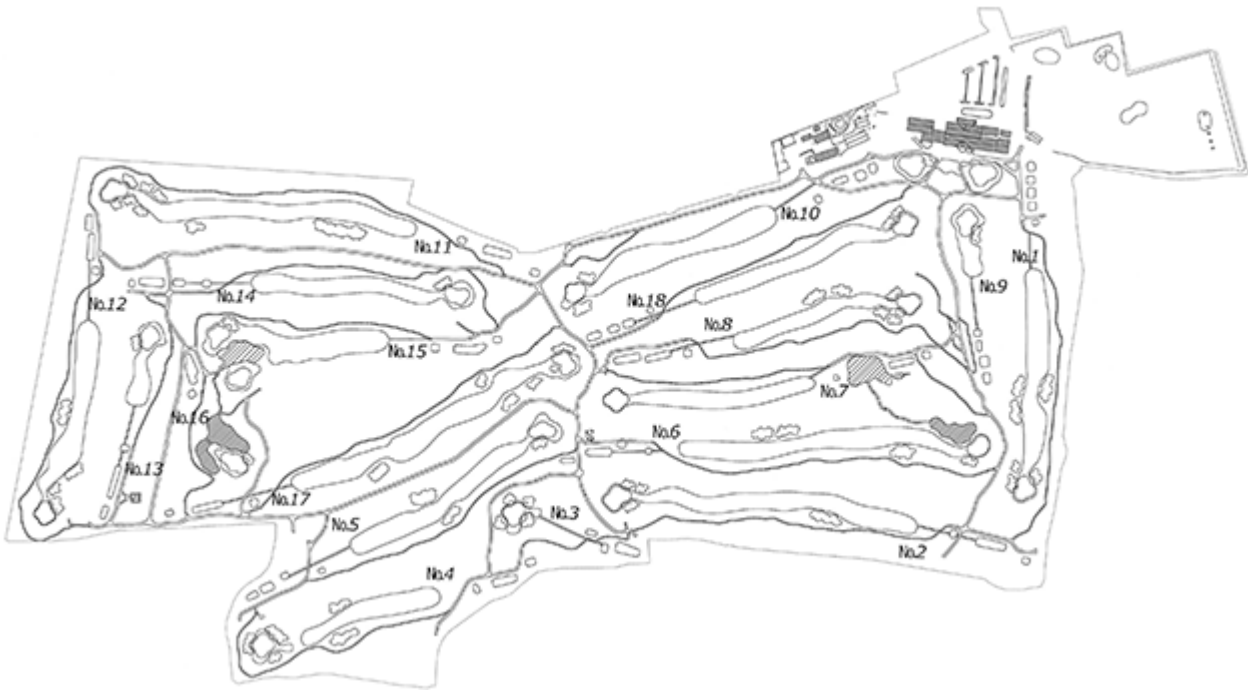
## 豊岡コース



HOLE NO	HDCP	PAR	ブラックティ (ヤード)		ブルーティ (ヤード)		ホワイトティ (ヤード)		グリーンティ (ヤード)	
			WHITE	RED	WHITE	RED	WHITE	RED	WHITE	RED
1	5	5	545	555	510	520	468	478	438	448
2	15	4	334	363	312	341	300	329	280	309
3	13	3	159	140	149	130	132	113	132	113
4	1	4	454	431	435	412	425	402	350	327
5	9	4	379	362	360	343	341	324	291	274
6	3	5	532	515	510	493	501	484	435	418
7	11	4	356	390	344	378	330	364	310	344
8	7	4	428	422	395	389	385	379	335	329
9	17	3	187	177	178	170	170	158	150	136
OUT		36	3,374	3,355	3,193	3,176	3,052	3,031	2,721	2,698

HOLE NO	HDCP	PAR	ブラックティ (ヤード)		ブルーティ (ヤード)		ホワイトティ (ヤード)		グリーンティ (ヤード)	
			WHITE	RED	WHITE	RED	WHITE	RED	WHITE	RED
10	4	5	544	560	516	532	463	479	433	449
11	10	4	403	423	379	399	371	391	321	341
12	18	3	147	154	129	136	110	117	110	117
13	12	5	527	523	483	479	469	465	408	404
14	2	4	445	417	420	392	411	383	341	313
15	16	4	372	350	353	331	345	323	283	261
16	6	3	226	230	210	214	176	180	166	170
17	14	4	349	372	326	349	314	337	270	293
18	8	4	451	427	420	396	410	386	346	322
IN		36	3,464	3,456	3,236	3,228	3,069	3,061	2,678	2,670
TOTAL		72	6,838	6,811	6,429	6,404	6,121	6,092	5,399	5,368
コースレート (メンズ)			73.0	72.8	71.0	70.9	69.7	69.5	66.4	66.3
コースレート (レディース)			79.5	79.4	77.3	77.1	75.5	75.4	71.6	71.3

## 笹井コース



HOLE NO	HDCP	PAR	ブラック ティ (ヤード)	ブルー ティ (ヤード)	ホワイト ティ (ヤード)	グリーン ティ (ヤード)
1	7	4	409	392	375	354
2	3	5	547	512	482	448
3	17	3	172	148	129	110
4	13	4	369	341	318	293
5	1	4	444	421	394	346
6	9	5	551	517	493	438
7	11	4	418	394	372	295
8	5	4	379	353	328	301
9	15	3	212	186	166	148
OUT	36		3,501	3,264	3,057	2,733

HOLE NO	HDCP	PAR	ブラック ティ (ヤード)	ブルー ティ (ヤード)	ホワイト ティ (ヤード)	グリーン ティ (ヤード)
10	8	4	427	409	381	345
11	4	5	574	532	510	471
12	12	4	396	372	346	329
13	10	3	240	205	176	146
14	2	4	415	391	368	332
15	16	4	335	322	293	283
16	18	3	153	139	122	106
17	6	5	563	528	498	452
18	14	4	440	411	389	357
IN		36	3,543	3,309	3,083	2,821
TOTAL		72	7,044	6,573	6,140	5,554
コースレート (メンズ)			73.8	71.7	69.6	66.9
コースレート (レディース)			80.9	78.4	75.9	72.5

## (生産、受注及び販売の状況)

## (1) 営業収入実績

内訳		第67期		第68期	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
業務収入	メンバー料収入	91,800	6.1	87,652	6.0
	ゲスト料収入	357,977	23.7	347,509	23.8
	厚生料収入	148,902	9.8	142,273	9.7
	貸ロッカー収入	4,537	0.3	4,203	0.3
	練習ボール収入	14,049	0.9	13,364	0.9
	キャディ料収入	325,498	21.5	305,030	20.8
	レッスン料収入	18,192	1.2	17,726	1.2
	競技料収入	10,086	0.7	9,837	0.7
	その他収入	14,562	1.0	13,814	0.9
	計	985,607	65.2	941,411	64.3
食堂売店売上	食事売上	112,450	7.4	107,903	7.4
	飲物売上	29,844	2.0	30,061	2.0
	酒類売上	43,463	2.9	41,220	2.8
	菓子類売上	1,125	0.1	1,026	0.1
	土産品売上	3,818	0.3	2,892	0.2
	煙草売上	349	0.0	273	0.0
	ゴルフ用品売上	27,637	1.8	33,181	2.3
	計	218,689	14.5	216,558	14.8
年会費収入		307,308	20.3	305,499	20.9
合計		1,511,604	100.0	1,463,469	100.0

## (2) 収容能力

当ゴルフ場の快適な利用者の限度は、一日当たり、両コース合計概ね300人程度であります。

## (3) 来場者実績

## 月別来場者数

月別	第67期					第68期				
	メンバー	ゲスト	計	営業日数	一日平均	メンバー	ゲスト	計	営業日数	一日平均
1	3,366	1,285	4,651	22.5	207	3,224	1,261	4,485	23.5	191
2	2,669	911	3,580	19.5	184	3,001	1,075	4,076	21.0	194
3	3,561	1,739	5,300	24.5	216	3,339	1,962	5,301	24.0	221
4	3,746	1,842	5,588	25.0	224	3,840	1,669	5,509	25.5	216
5	3,655	2,178	5,833	27.0	216	3,374	1,799	5,173	26.0	199
6	3,360	1,812	5,172	26.0	199	3,216	1,757	4,973	25.5	195
7	2,548	1,372	3,920	24.5	160	2,363	1,110	3,473	23.5	148
8	2,436	945	3,381	23.5	144	2,083	841	2,924	21.5	136
9	3,035	1,619	4,654	25.0	186	2,880	1,124	4,004	25.0	160
10	3,576	2,374	5,950	26.5	225	3,202	2,432	5,634	27.0	209
11	3,546	2,462	6,008	26.0	231	3,643	2,530	6,173	26.0	237
12	3,753	1,880	5,633	26.0	217	3,446	1,881	5,327	25.0	213
計	39,251	20,419	59,670	296.0	202	37,611	19,441	57,052	293.5	194
%	66	34	100			66	34	100		

## コース別来場者数

月別	第67期							第68期						
	豊岡コース			笹井コース			合計	豊岡コース			笹井コース			合計
	メンバー	ゲスト	計	メンバー	ゲスト	計		メンバー	ゲスト	計	メンバー	ゲスト	計	
1	1,694	574	2,268	1,672	711	2,383	4,651	1,551	728	2,279	1,673	533	2,206	4,485
2	1,419	513	1,932	1,250	398	1,648	3,580	1,400	574	1,974	1,601	501	2,102	4,076
3	1,709	897	2,606	1,852	842	2,694	5,300	1,735	1,127	2,862	1,604	835	2,439	5,301
4	1,902	933	2,835	1,844	909	2,753	5,588	1,798	913	2,711	2,042	756	2,798	5,509
5	1,888	1,092	2,980	1,767	1,086	2,853	5,833	1,590	890	2,480	1,784	909	2,693	5,173
6	1,633	945	2,578	1,727	867	2,594	5,172	1,718	972	2,690	1,498	785	2,283	4,973
7	1,270	768	2,038	1,278	604	1,882	3,920	1,163	729	1,892	1,200	381	1,581	3,473
8	1,378	430	1,808	1,058	515	1,573	3,381	1,076	470	1,546	1,007	371	1,378	2,924
9	1,541	864	2,405	1,494	755	2,249	4,654	1,572	590	2,162	1,308	534	1,842	4,004
10	1,776	1,208	2,984	1,800	1,166	2,966	5,950	1,504	1,366	2,870	1,698	1,066	2,764	5,634
11	1,701	1,329	3,030	1,845	1,133	2,978	6,008	1,956	1,255	3,211	1,687	1,275	2,962	6,173
12	1,854	1,048	2,902	1,899	832	2,731	5,633	1,690	1,054	2,744	1,756	827	2,583	5,327
計	19,765	10,601	30,366	19,486	9,818	29,304	59,670	18,753	10,668	29,421	18,858	8,773	27,631	57,052
%	65	35	100	67	33	100		64	36	100	68	32	100	

(注) ゲストには、登録家族を含みます。

## 5 【重要な契約等】

該当事項はありません。

## 6 【研究開発活動】

該当事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

#### 1 【設備投資等の概要】

当事業年度においては、豊岡コースで散水用受水槽ポンプユニット17,574千円、散水用受水槽15,434千円他、総額108,774千円の設備投資を実施しました。

一方、笹井コースクラブハウス受変電設備（取得価額9,344千円）、豊岡コースでフロントロータリーモア（取得価額2,970千円）他を除却しました。

#### 2 【主要な設備の状況】

2025年12月31日現在の各事業所の設備、投下資本並びに従業員の配置状況は次のとおりであります。

摘要	本社及び豊岡コース		笹井コース		合計(千円)
	内訳	金額(千円)	内訳	金額(千円)	
建物	クラブハウス棟他	571,360	クラブハウス棟他	647,007	1,218,368
構築物	コース内給水設備他	143,360	コース内給水設備他	175,106	318,467
機械及び装置	コース整備用機械他	60,364	コース整備用機械他	71,457	131,822
車両運搬具	乗用カート他	7,315	乗用カート他	8,038	15,354
工具、器具及び備品	クラブハウス内備品他	6,919	クラブハウス内備品他	5,679	12,599
土地	埼玉県入間市707,008.25㎡	933,594	埼玉県狭山市638,144.18㎡	945,342	
	埼玉県飯能市 830.69㎡	10,950	埼玉県飯能市 40,689.00㎡	128,146	
	その他 3.16㎡	514			
	計 707,842.10㎡	945,060	計 678,833.18㎡	1,073,489	2,018,549
コース勘定	18ホールゴルフコース	403,779	18ホールゴルフコース	606,525	1,010,304
合計		2,138,161		2,587,303	4,725,465
従業員数	37名		24名		61名

(注) 1 投下資本の金額は有形固定資産の帳簿価額によります。

2 従業員数のうち、本社及び豊岡コース37名には本社業務の従業員9名を含みます。

#### 3 【設備の新設、除却等の計画】

##### (1) 重要な設備の新設等

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	着手及び完了予定年月	
		総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完成
豊岡コース (埼玉県入間市)	カートパス舗装工事	16,000		自己資金	2026年2月	2026年3月
	コース散水用井戸ポンプ2基	12,000		自己資金	2026年1月	2026年3月
	キャディ用立乗りカート10台	11,000		自己資金	2026年2月	2026年2月
笹井コース (埼玉県狭山市)	5人乗り乗用カート20台	40,000		自己資金	2026年5月	2026年5月
	5人乗り乗用カート用クーラー24台	31,700		自己資金	2026年5月	2026年5月
	タンク車	12,600		自己資金	2026年5月	2026年5月
	キャディ用立乗りカート10台	11,000		自己資金	2026年2月	2026年2月

## 第4 【提出会社の状況】

## 1 【株式等の状況】

## (1) 【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	2,300
計	2,300

## 【発行済株式】

種類	事業年度末現在 発行数(株) (2025年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (2026年3月23日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,800	1,800	該当事項なし	当社は単元株制度を採用して おりません。(注)
計	1,800	1,800		

(注) 1 普通株式は、全て議決権を有しております。

2 当社の株式を譲渡により取得するには、取締役会の承認を要する旨定款第9条に定めております。

## (2) 【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2016年5月27日 (注)		1,800	544,000	100,000		133,000

(注) 2016年3月20日開催の第58期定時株主総会決議に基づき、資本金を544,000千円減少し、その他資本剰余金に振り替え、増加したその他資本剰余金のうち357,537千円及び別途積立金300,000千円の合計657,537千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補しております。

## (5) 【所有者別状況】

2025年12月31日現在

区分	株式の状況							単元未満株式の状況(株)	
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他		計
					個人以外	個人			
株主数(社、人)		9		155		2	1,555	1,721	
所有株式数(株)		15		227		2	1,556	1,800	
所有株式数の割合(%)		0.8		12.6		0.1	86.5	100.0	

## (6) 【大株主の状況】

2025年12月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社講談社	東京都文京区音羽 2 - 12 - 21	22	1.22
日本通運株式会社	東京都千代田区神田和泉町 2 NXグループビル	6	0.33
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町 2 - 1 - 1 日本橋三井タワー	5	0.28
株式会社安川電機	福岡県北九州市八幡西区黒崎城石 2 - 1	5	0.28
RKB毎日放送株式会社	東京都中央区銀座 3 - 15 - 10 JRE銀座三丁目ビル 2F	4	0.22
計	-	42	2.33

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2025年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,800	1,800	
単元未満株式			
発行済株式総数	1,800		
総株主の議決権		1,800	

【自己株式等】

2025年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】

該当事項はありません。

(1) 【株主総会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(2) 【取締役会決議による取得の状況】

該当事項はありません。

(3) 【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】

該当事項はありません。

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

該当事項はありません。

3 【配当政策】

当社は定款第8条において、株主は剰余金の配当を受ける権利を有しない旨定めており、この方針に基づき配当は実施していません。

#### 4 【コーポレート・ガバナンスの状況等】

##### (1) 【コーポレート・ガバナンスの概要】

###### 企業統治に関する概要

###### (イ) 会社の機関の内容

取締役会は、当事業年度末現在4名の社内取締役で構成されており、原則毎月取締役会を開催し、重要事項の審議・決定を行い、透明性の高い経営を実施しております。取締役の選任決議は、累積投票によらないものとしております。

当社は監査役制度を採用しており、当事業年度末現在3名の監査役が選任されております。監査役は、会計監査を実施するとともに業務監査を実施しており、取締役会他重要な会議に出席して取締役の職務執行を監視しております。また、監査役は適時、会計監査人より報告を受け、相互に連携を取っております。

###### (ロ) 内部統制システムの整備の状況

当社は、各社員及び各部署間の相互牽制が有効に機能すべく適材適所に人員を配置するように努め、検出事項があれば即座に上層部に報告する等の社内ルールを徹底しております。

なお、法律的検討課題等については、必要に応じ弁護士からアドバイスを受け、対処しております。

###### (ハ) リスク管理体制の整備の状況

当社は、内部管理体制の整備を図っていくことがリスク管理に直結するものと考えております。様々なリスクに迅速かつ適正に対処できるよう、会社法施行規則第100条第1項及び第3項に基づいて内部管理体制を整備し、健全な経営の維持に努めております。

##### (二) 役員報酬の内容

当事業年度における取締役・監査役に対する役員報酬は、取締役が常勤取締役1名で11,004千円であり、監査役への報酬はありません。

###### 役員の定数

当社は、取締役は3名以上12名以内、監査役は4名以内とする旨を定款に定めております。

###### 取締役会の活動状況

当事業年度において当社は取締役会を8月を除いて毎月1回開催しております。個々の取締役の出席状況については次のとおりであります。

氏名	開催回数	出席回数
野間省伸	11	10
山本滋彦	2	2
浅川辰彦	11	9
森一郎	9	9
大久保慎也	11	11

(注) 1 山本 滋彦氏は、2025年3月23日開催の定時株主総会の終結をもって取締役を退任しておりますので、退任までの期間に開催された取締役会の出席状況を記載しております。

2 森 一郎氏は、2025年3月23日開催の定時株主総会において取締役に選任され就任しておりますので、就任後の期間に開催された取締役会の出席状況を記載しております。

取締役会における具体的な検討内容として、内部統制、中期収支計画、資金運用等であります。

(2) 【役員の状況】

役員一覧

男性7名 女性 名 (役員のうち女性の比率 %)

役職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (株)
代表取締役 社長	野間 省 伸	1969年1月13日生	1999年2月 2003年2月 2004年3月 2011年3月 2021年3月	株式会社講談社取締役就任 同社常務取締役就任 同社代表取締役副社長就任 同社代表取締役社長就任(現任) 当社代表取締役社長就任(現任)	(注) 1	1
取締役	浅川 辰 彦	1952年3月17日生	1980年1月 1982年1月 1988年1月 2021年3月	株式会社浅川製作所取締役就任 同社専務取締役就任 同社代表取締役社長就任(現任) 当社取締役就任(現任)	(注) 1	1
取締役	森 一 郎	1955年3月8日生	1985年10月 1988年8月 2006年7月 2025年3月	櫻井己津男税理士事務所入所 公認会計士森助紀事務所入所 森一郎税理士事務所開設 同所所長就任(現任) 当社取締役就任(現任)	(注) 1	1
取締役総支配人	大久保 慎 也	1957年1月21日生	1978年2月 2000年11月 2005年4月 2007年4月 2014年3月 2023年3月	当社入社 当社豊岡コースコース課長就任 当社豊岡コース副支配人兼コース 課長就任 当社豊岡コーススーパーインテン デント就任 当社取締役スーパーインテンデ ント就任 当社取締役総支配人就任(現任)	(注) 1	

役職名	氏名	生年月日	略歴		任期	所有株式数 (株)
監査役	黒田 清嗣	1945年2月4日生	1984年4月 1987年4月 1991年6月 2002年6月 2004年6月 2016年3月	東芝E M I株式会社宣伝2部部長 就任 同社広域宣伝本部部長就任 同社取締役第二制作本部部長就 任 同社監査役就任 有限会社五台代表取締役就任(現 任) 当社監査役就任(現任)	(注)2	1
監査役	森 武文	1951年5月15日生	1989年6月 2000年6月 2004年2月 2008年2月 2011年2月 2017年2月 2018年2月 2019年2月 2020年3月	株式会社講談社九州支社長就任 同社コミック販売局長就任 同社取締役就任 同社常務取締役就任 同社専務取締役就任 同社取締役副社長就任 同社取締役相談役就任 同社顧問・相談役就任 当社監査役就任(現任)	(注)2	
監査役	大森 壽郎	1949年4月11日生	2002年6月 2003年12月 2005年6月 2007年6月 2009年6月 2010年6月 2017年6月 2021年2月 2021年4月 2021年6月 2024年3月 2025年4月	株式会社博報堂執行役員メディア ・コンテンツカンパニー新聞局 長就任 株式会社博報堂DYメディアパー トナーズ取締役就任 同社取締役兼執行役員就任 同社常務取締役兼執行役員就任 同社取締役常務執行役員就任 同社代表取締役社長就任 同社取締役会長就任 一般社団法人日本ゴルフトーナメ ント振興協会理事長就任 株式会社博報堂DYメディアパー トナーズ取締役相談役就任 同社相談役就任 当社監査役就任(現任) 株式会社博報堂相談役就任(現任)	(注)2	1
計						5

- (注) 1 取締役の任期は、2025年3月の定時株主総会から2027年3月の定時株主総会までであります。  
2 監査役の任期は、2024年3月の定時株主総会から2028年3月の定時株主総会までであります。  
3 監査役は全て、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

#### 社外役員の状況

当社の社外監査役との間には、人的関係、資本的关系又は重要な取引関係その他の利害関係はありません。

(3) 【監査の状況】

監査役監査の状況

当社における監査役監査は、上記でも述べたように、取締役会に出席して取締役の職務執行を監視し、内部統制の有効性等を監査しております。

当事業年度において当社は監査役協議会を2回開催しており、個々の監査役の出席状況については次のとおりであります。

氏名	開催回数	出席回数
黒田清嗣	2	2
森武文	2	2
大森壽郎	2	2

監査役協議会における具体的な検討内容として、取締役の職務執行の妥当性、会計監査人の監査の検証等であります。

内部監査の状況

当社には、内部監査の組織はありません。

会計監査の状況

(イ) 監査法人の名称

保森監査法人

(ロ) 継続監査期間

2021年12月期以降の5年間

(ハ) 業務を執行した公認会計士

代表社員 業務執行社員 公認会計士 稲葉喜子

代表社員 業務執行社員 公認会計士 笹部秀樹

(ニ) 会計監査業務に係る補助者の構成

公認会計士 4名

(ホ) 監査法人の選定方針と理由

当社は、監査法人を選定するにあたり、監査法人の独立性、品質管理体制、当社の事業内容を理解した上での専門性の有無、監査手続きの適切性等を総合的に判断した結果、保森監査法人が適切であると判断いたしました。

(ヘ) 監査役による監査法人の評価

当社の監査役は、監査法人に対して評価を行っており、監査業務が適切に行われているか等について様々な角度から実施しております。当事業年度中に実施した評価においては、特段の問題は発見されておらず、適切な監査が実施されているものと考えております。

監査報酬の内容等

(イ) 監査公認会計士等に対する報酬

前事業年度		当事業年度	
監査証明業務に 基づく報酬(千円)	非監査業務に 基づく報酬(千円)	監査証明業務に 基づく報酬(千円)	非監査業務に 基づく報酬(千円)
5,500		6,200	

(ロ) 監査公認会計士等と同一のネットワークに対する報酬((イ)を除く)

該当事項はありません。

(ハ) その他の重要な監査証明業務に基づく報酬の内容

該当事項はありません。

(二) 監査報酬の決定方針

当社の監査公認会計士等に対する監査報酬は、監査計画、当社の規模及び業務の特性等を総合的に勘案し、適切に決定することを方針としております。

(ホ) 監査役が会計監査人の報酬等に同意した理由

監査日数及び監査報酬の推移ならびに過年度の監査実績の状況を踏まえ、当事業年度の監査日数及び監査報酬について検討した結果、会計監査人の報酬等の額は妥当であると判断いたしました。

(4) 【役員の報酬等】

該当事項はありません。

(5) 【株式の保有状況】

該当事項はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当事業年度(2025年1月1日から2025年12月31日まで)の財務諸表について、保森監査法人により監査を受けております。

### 3 連結財務諸表について

当社は、子会社がないため、連結財務諸表を作成しておりません。

## 1 【財務諸表等】

## (1) 【財務諸表】

## 【貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	462,599	368,038
売掛金	58,379	59,906
有価証券	100,000	1,003,124
商品	11,918	13,371
貯蔵品	24,535	25,137
前払費用	5,794	5,813
その他	25,696	31,330
流動資産合計	688,925	1,506,723
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,268,289	1,218,368
構築物（純額）	329,868	318,467
機械及び装置（純額）	108,340	131,822
車両運搬具（純額）	16,926	15,354
工具、器具及び備品（純額）	11,047	12,599
土地	2,018,549	2,018,549
コース勘定	1,008,013	1,010,304
有形固定資産合計	1 4,761,037	1 4,725,465
無形固定資産		
ソフトウェア	9,759	7,105
電話加入権	1,321	1,321
無形固定資産合計	11,080	8,426
投資その他の資産		
投資有価証券	6,834,080	6,116,269
長期前払費用	5,052	2,450
繰延税金資産	13,511	8,201
その他	550	550
投資その他の資産合計	6,853,194	6,127,471
固定資産合計	11,625,312	10,861,364
資産合計	12,314,237	12,368,087
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,317	38,995
未払金	54,534	55,890
未払費用	29,138	28,145
未払法人税等	39,143	7,030
未払消費税等	36,338	9,910
預り金	25,112	25,693
前受金		602
前受収益	3,716	929
賞与引当金	5,400	5,500
流動負債合計	231,702	172,697
固定負債		
退職給付引当金	240,696	234,936
役員退職慰労引当金	13,011	14,799
会員預り金	10,459,800	10,511,400
長期前受収益	929	
固定負債合計	10,714,437	10,761,136

負債合計	10,946,140	10,933,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	133,000	133,000
その他資本剰余金	186,462	186,462
資本剰余金合計	319,462	319,462
利益剰余金		
その他利益剰余金		
コース改良積立金	170,000	200,000
繰越利益剰余金	778,634	814,790
利益剰余金合計	948,634	1,014,790
株主資本合計	1,368,097	1,434,253
純資産合計	1,368,097	1,434,253
負債純資産合計	12,314,237	12,368,087

## 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高		
業務収入	985,607	941,411
食堂売店売上	218,689	216,558
年会費収入	307,308	305,499
売上高合計	1 1,511,604	1 1,463,469
売上原価		
業務費	1,143,067	1,129,762
食堂売店費	256,353	267,241
売上原価合計	1,399,420	1,397,003
売上総利益	112,184	66,465
販売費及び一般管理費	2 202,818	2 214,898
営業損失( )	90,634	148,433
営業外収益		
入会登録料	242,750	191,500
受取利息	83	313
有価証券利息	43,167	50,519
雑収入	19,024	16,952
営業外収益合計	305,025	259,285
営業外費用		
過年度年会費返還損	2,744	840
雑損失	3,178	2,812
営業外費用合計	5,922	3,652
経常利益	208,468	107,200
特別利益		
固定資産売却益	3 2	
投資有価証券償還益	4 314	
特別利益合計	317	
特別損失		
固定資産除却損	5 18,990	5 3,128
固定資産売却損	6 76,012	
固定資産解体撤去費	7 4,264	7 2,135
投資有価証券償還損	8 43	8 383
特別損失合計	99,310	5,647
税引前当期純利益	109,476	101,552
法人税、住民税及び事業税	45,525	30,086
法人税等調整額	1,302	5,309
法人税等合計	44,223	35,396
当期純利益	65,252	66,156

## 【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)		当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
業務費					
給料手当		242,828	17.3	249,967	17.9
キャディ給料		253,819	18.1	245,564	17.6
法定福利費		73,731	5.3	73,450	5.3
厚生費		24,635	1.7	22,707	1.6
賞与		20,614	1.5	21,279	1.5
賞与引当金繰入額		3,868	0.3	3,031	0.2
退職給付費用		19,475	1.4	14,166	1.0
租税公課		107,852	7.7	107,543	7.7
減価償却費		134,275	9.6	133,137	9.5
コース維持費		124,041	8.9	122,739	8.8
支払手数料		13,543	1.0	13,180	1.0
印刷文具費		3,256	0.2	2,785	0.2
電算機費		3,975	0.3	4,000	0.3
消耗品費		27,807	2.0	23,512	1.7
洗濯清掃費		21,758	1.5	21,974	1.6
水道光熱費		58,224	4.2	62,051	4.4
練習ボール費		2,303	0.2		
警備費		1,885	0.1	1,981	0.1
雑費		5,170	0.4	6,688	0.5
計		1,143,067	81.7	1,129,762	80.9
食堂売店費					
給料手当		109,196	7.8	111,426	8.0
法定福利費		14,921	1.1	16,107	1.2
厚生費		2,448	0.2	3,632	0.3
賞与		6,847	0.5	7,597	0.5
賞与引当金繰入額		1,143	0.1	1,137	0.1
退職給付費用		3,182	0.2	2,268	0.2
減価償却費		8,506	0.6	8,130	0.6
電算機費		159	0.0	159	0.0
消耗品費		5,428	0.4	6,474	0.5
洗濯清掃費		3,507	0.2	3,405	0.2
水道光熱費		3,089	0.2	3,114	0.2
食事材料費		44,795	3.2	46,164	3.3
飲物原価		11,342	0.8	11,687	0.8
酒類原価		18,286	1.3	18,461	1.3
菓子類原価		832	0.1	740	0.0
土産品原価		3,204	0.2	2,413	0.2
煙草原価		303	0.0	243	0.0
ゴルフ用品原価		19,093	1.4	23,951	1.7
雑費		63	0.0	122	0.0
計		256,353	18.3	267,241	19.1
合計		1,399,420	100.0	1,397,003	100.0

## 【株主資本等変動計算書】

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					コース改良積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	133,000	186,462	319,462	170,000	713,382	883,382	1,302,844	1,302,844
当期変動額									
当期純利益						65,252	65,252	65,252	65,252
当期変動額合計						65,252	65,252	65,252	65,252
当期末残高	100,000	133,000	186,462	319,462	170,000	778,634	948,634	1,368,097	1,368,097

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					コース改良積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	100,000	133,000	186,462	319,462	170,000	778,634	948,634	1,368,097	1,368,097
当期変動額									
当期純利益						66,156	66,156	66,156	66,156
コース改良積立金の積立					30,000	30,000			
当期変動額合計					30,000	36,156	66,156	66,156	66,156
当期末残高	100,000	133,000	186,462	319,462	200,000	814,790	1,014,790	1,434,253	1,434,253

## 【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	109,476	101,552
減価償却費	145,187	143,871
賞与引当金の増減額(は減少)	800	100
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,135	5,760
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,811	1,788
受取利息及び受取配当金	43,250	50,832
投資有価証券償還損益(は益)	271	383
有形固定資産売却損益(は益)	76,009	
有形固定資産除却損	18,990	3,128
売上債権の増減額(は増加)	1,534	1,164
棚卸資産の増減額(は増加)	2,759	2,054
その他の流動資産の増減額(は増加)	3,677	270
長期前払費用の増減額(は増加)	2,601	2,601
敷金及び保証金の増減額(は増加)	16	
仕入債務の増減額(は減少)	2,249	677
未払費用の増減額(は減少)	1,479	993
未払又は未収消費税等の増減額	25,666	31,271
その他の流動負債の増減額(は減少)	2,144	2,050
長期前受収益の増減額(は減少)	929	929
小計	352,359	158,776
利息及び配当金の受取額	52,467	58,614
法人税等の支払額	6,847	62,199
法人税等の還付額	5,943	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>403,923</b>	<b>155,190</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	100,000	
有価証券の償還による収入	500,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	1,495,518	694,380
投資有価証券の償還による収入	600,314	400,000
有形固定資産の取得による支出	111,976	106,971
有形固定資産の売却による収入	16,503	
無形固定資産の取得による支出	6,998	
投資活動によるキャッシュ・フロー	597,675	301,351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
会員預り金の受入による収入	341,700	289,400
会員預り金の返還による支出	223,800	237,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,900	51,600
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	75,851	94,560
現金及び現金同等物の期首残高	538,451	462,599
現金及び現金同等物の期末残高	462,599	368,038

【注記事項】

(重要な会計方針)

1 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)を採用しております。

その他有価証券

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法(貸借対照表価額は収益性低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	15年～50年
構築物	10年～50年
機械及び装置	8年～17年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、償却年数は次のとおりであります。

ソフトウェア(自社利用分)	5年
---------------	----

4 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、当事業年度負担分の支給見込額基準により計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする簡便法を適用しております。

(3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な業務における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) ゴルフ場業務収入及び食堂売店売上

ゴルフ場業務収入及び食堂売店売上については、顧客のゴルフ場及び食堂・売店の利用等に係るサービスの提供を履行義務としており、顧客へのサービス提供完了時に収益を認識しております。

(2) 年会費収入

年会費収入については、会員資格の維持と会員のゴルフ場等の施設利用機会の提供を履行義務としており、当該履行業務は時の経過に応じて充足されることから、当該期間にわたり均等に期間按分することによって収益を認識しております。

6 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

（重要な会計上の見積り）

1 繰延税金資産の回収可能性

(1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額

	前事業年度	当事業年度
繰延税金資産	13,511千円	8,201千円

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産の認識は、将来の計画に基づく課税所得の発生時期及び金額によって見積っております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の財務諸表において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（未適用の会計基準等）

- ・「リースに関する会計基準」（企業会計基準第34号 2024年9月13日）
- ・「リースに関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日）

ほか、関連する企業会計基準、企業会計基準適用指針、実務対応報告及び移管指針の改正

(1) 概要

国際的な会計基準と同様に、借手のすべてのリースについて資産・負債を計上する等の取扱いを定めるもの。

(2) 適用予定日

2028年12月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準の適用による影響

当該会計基準の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

（表示方法の変更）

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)  
該当事項はありません。

(追加情報)  
該当事項はありません。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりであります。

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
有形固定資産の減価償却累計額	3,603,606千円	3,717,920千円

(損益計算書関係)

1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、財務諸表「注記事項(収益認識関係) 1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に記載しております。

2 販売費及び一般管理費の主要な費目は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
給料	45,487千円	46,989千円
賞与	2,708千円	2,947千円
退職給付費用	6,231千円	5,064千円
顧問料	8,355千円	9,305千円
役員報酬	10,753千円	11,004千円
営繕費	19,859千円	22,366千円
自動車費	23,123千円	24,695千円
造園管理費	5,654千円	10,260千円
広報費	9,229千円	10,032千円
減価償却費	2,405千円	2,603千円
賞与引当金繰入額	377千円	431千円
役員退職慰労引当金繰入額	2,811千円	1,788千円

おおよその割合

販売費	6.1%	6.9%
一般管理費	93.9%	93.1%

3 固定資産売却益の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
車両運搬具	2千円	千円

4 投資有価証券償還益の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
(株)群馬銀行第5回期限前償還条項 付無担保社債	314千円	千円

5 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
建物	217千円	1,903千円
構築物	716千円	千円
機械及び装置	662千円	615千円
車両運搬具	0千円	0千円
工具、器具及び備品	0千円	386千円
コース勘定	17,393千円	222千円
合計	18,990千円	3,128千円

6 固定資産売却損の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
土地	76,012千円	千円

7 固定資産解体撤去費の主要なものは次のとおりであります。

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

笹井 15H池既存防水シート撤去・堆土処理費 1,712千円

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

豊岡コンペルームエアコン更新に伴う天井解体撤去費 629千円

8 投資有価証券償還損の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
(株)コンコルディア・フィナンシャルグループ第3回期限前償還条項付無担保社債償還差損	43千円	千円
第25回(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ期限前償還条項付無担保社債償還差損	千円	383千円

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,800			1,800

## 2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

## 1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,800			1,800

## 2 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

## 3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4 配当に関する事項

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
現金及び預金勘定	462,599千円	368,038千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	462,599千円	368,038千円

(リース取引関係)

該当事項はありません。

(金融商品関係)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、会員からの預り金を中心に資金を調達しており、短期的な預金及び満期保有目的で保有する社債等を中心に、安全且つ換金性・流動性が高い効率的な方法によって資金運用を行っております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金に係る顧客の信用リスクは、内部規定に則ってリスク低減を図っております。有価証券及び投資有価証券については、半期ごとに時価の把握を行っております。

営業債務である買掛金及び未払金は、そのほとんどが1年以内の支払期日であります。

2 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、重要性の乏しいものは、次表には含めておりません。

前事業年度(2024年12月31日)

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 投資有価証券			
満期保有目的の債券	6,834,080	6,687,811	146,268
資産計	6,834,080	6,687,811	146,268

(\*1) 「現金及び預金」「売掛金」「買掛金」「未払金」「預り金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(\*2) 「有価証券」(貸借対照表計上額100,000千円)については、金銭信託であり、市場価格がなく、時価を把握することが困難であることから、上表には含めておりません。

(\*3) 「会員預り金」(貸借対照表計上額10,459,800千円)については、市場価格がなく、かつ返還期限が定められていないため、将来キャッシュ・フローを見積もることが困難であることから、上表には含めておりません。

当事業年度(2025年12月31日)

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 有価証券			
満期保有目的の債券	1,003,124	999,728	3,395
(2) 投資有価証券			
満期保有目的の債券	6,116,269	5,882,389	233,880
資産計	7,119,393	6,882,117	237,275

(\*1) 「現金及び預金」「売掛金」「買掛金」「未払金」「預り金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(\*2) 「会員預り金」(貸借対照表計上額10,511,400千円)については、市場価格がなく、かつ返還期限が定められていないため、将来キャッシュ・フローを見積もることが困難であることから、上表には含めておりません。

(注) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度(2024年12月31日)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	462,599			
売掛金	58,379			
有価証券				
その他有価証券のうち満期が あるもの(金銭信託)	100,000			
投資有価証券				
満期保有目的の債券		3,000,000	3,400,000	400,000
合計	620,979	3,000,000	3,400,000	400,000

当事業年度(2025年12月31日)

	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	368,038			
売掛金	59,906			
有価証券				
満期保有目的の債券	1,000,000			
投資有価証券				
満期保有目的の債券		4,100,000	1,600,000	400,000
合計	1,427,945	4,100,000	1,600,000	400,000

### 3 金融商品の時価のレベルごとの内訳に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルの時価を分類しております。

(1) 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品  
前事業年度(2024年12月31日)

区分	時価(千円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券 満期保有目的の債券 社債		6,687,811		6,687,811
資産計		6,687,811		6,687,811

当事業年度(2025年12月31日)

区分	時価(千円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
有価証券 満期保有目的の債券 社債		999,728		999,728
投資有価証券 満期保有目的の債券 国債・地方債等		393,900		393,900
社債		5,488,489		5,488,489
小計		5,882,389		5,882,389
資産計		6,882,117		6,882,117

(注) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

当社が保有している債券は、市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル2の時価に分類しております。

(有価証券関係)

## 1 満期保有目的の債券で時価のあるもの

前事業年度 (2024年12月31日)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	(1) 国債・地方債等			
	(2) 社債			
	(3) その他			
	小計			
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	(1) 国債・地方債等			
	(2) 社債	6,834,080	6,687,811	146,268
	(3) その他			
	小計	6,834,080	6,687,811	146,268
合計		6,834,080	6,687,811	146,268

当事業年度 (2025年12月31日)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	(1) 国債・地方債等			
	(2) 社債			
	(3) その他			
	小計			
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	(1) 国債・地方債等	399,085	393,900	5,185
	(2) 社債	6,720,308	6,488,217	232,090
	(3) その他			
	小計	7,119,393	6,882,117	237,275
合計		7,119,393	6,882,117	237,275

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。

(退職給付関係)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度を採用しております。

確定給付制度では、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2 簡便法を適用した確定給付制度

(1) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

	(千円)	
	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
退職給付引当金の期首残高	232,560	240,696
退職給付費用	28,889	21,499
退職給付の支払額	20,754	27,259
退職給付引当金の期末残高	240,696	234,936

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(千円)	
	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
非積立型制度の退職給付債務	240,696	234,936
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,696	234,936
退職給付引当金	240,696	234,936
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	240,696	234,936

(3) 退職給付費用

	(千円)	
	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
簡便法で計算した退職給付費用	28,889	21,499

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

## (税効果会計関係)

## 1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
(繰延税金資産)		
退職給付引当金	81,836千円	81,872千円
賞与引当金	1,836千円	1,870千円
役員退職慰労引当金	4,424千円	5,157千円
その他	5,094千円	1,791千円
繰延税金資産小計	93,191千円	90,693千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	79,680千円	82,491千円
評価性引当額小計	79,680千円	82,491千円
繰延税金資産合計	13,511千円	8,201千円

## 2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
法定実効税率	34.0%	
(調整)		
前事業年度事業税	%	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。
源泉所得税	0.0%	
住民税均等割	0.8%	
仮払税金	%	
評価性引当額の増減	5.5%	
税効果会計適用後の法人税等の負担率	40.4%	

## 3 法人税等の税率の変更による繰延税金資産の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立し、2026年4月1日以後開始する事業年度より「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2027年1月1日以後開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産については、法定実効税率を34.01%から34.85%に変更して計算しております。

この変更による当事業年度の繰延税金資産および法人税等調整額への影響は軽微であります。

## (企業結合等関係)

該当事項はありません。

## (資産除去債務関係)

該当事項はありません。

## (賃貸等不動産関係)

該当事項はありません。

## (持分法損益等)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

1 顧客からの契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	ゴルフ場 業務収入	食堂売店 売上	年会費収入	合計
一時点で移転される財及びサービス	985,607	218,689		1,204,296
一定の期間にわたり移転される財及びサービス			307,308	307,308
顧客との契約から生じる収益	985,607	218,689	307,308	1,511,604
その他の収益				
外部顧客への売上高	985,607	218,689	307,308	1,511,604

当事業年度(自 2025年 1月 1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	ゴルフ場 業務収入	食堂売店 売上	年会費収入	合計
一時点で移転される財及びサービス	941,411	216,558		1,157,970
一定の期間にわたり移転される財及びサービス			305,499	305,499
顧客との契約から生じる収益	941,411	216,558	305,499	1,463,469
その他の収益				
外部顧客への売上高	941,411	216,558	305,499	1,463,469

2 収益を理解するための基礎となる情報

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「(重要な会計方針) 5 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

3 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

(1) 契約負債の残高等

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
顧客との契約から生じた債権(期首残高)	72,597	68,906
顧客との契約から生じた債権(期末残高)	68,906	68,620

契約負債については、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ゴルフ場事業運営の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社は、ゴルフ場事業として単一のサービスを提供しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社は、ゴルフ場事業として単一のサービスを提供しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

【関連当事者情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)		当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)	
1株当たり純資産額	760,054円	1株当たり純資産額	796,807円
1株当たり当期純利益金額	36,251円	1株当たり当期純利益金額	36,753円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益 (千円)	65,252	66,156
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る当期純利益 (千円)	65,252	66,156
期中平均株式数 (株)	1,800	1,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 【附属明細表】

## 【有価証券明細表】

## 【債券】

種類及び銘柄		券面総額 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)	
有価証券	満期保有目的の 債券	日本生命2021基金流動化(株)第1回無担保社債	200,000	200,000
		第9回(株)みずほフィナンシャルグループ無担保社債	100,000	100,004
		第6回住友信託銀行(株)無担保社債	100,000	100,715
		第9回(株)りそな銀行無担保社債	100,000	101,699
		第13回住友信託銀行(株)無担保社債	100,000	100,796
		トヨタ自動車(株)第25回無担保社債	100,000	99,935
		西日本高速道路(株)第86回一般担保付社債	200,000	200,000
		第3回三井住友トラスト・ホールディングス(株)期限前償還条項付無担保社債	100,000	99,973
		小計	1,000,000	1,003,124
投資有価証券	満期保有目的の 債券	損害保険ジャパン日本興亜(株)第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債	200,000	201,663
		日本生命第5回劣後ローン流動化(株)第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債	200,000	202,237
		第15回(株)みずほフィナンシャルグループ無担保社債	300,000	300,318
		第2回(株)商工組合中央金庫期限前償還条項付無担保社債	100,000	100,000
		第21回(株)みずほフィナンシャルグループ無担保社債	200,000	203,389
		第4回(株)三井住友フィナンシャルグループ無担保社債	200,000	207,094
		第16回三井住友トラスト・ホールディングス(株)期限前償還条項付無担保社債	300,000	300,000
		第4回三菱HCキャピタル(株)無担保社債	200,000	199,700
		第13回(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保社債	100,000	100,440
		第14回(株)三井住友フィナンシャルグループ無担保社債	200,000	200,666
		第15回(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保社債	100,000	100,190
		第10回みずほリース(株)無担保社債	200,000	197,098
		第21回(株)みずほフィナンシャルグループ無担保社債	300,000	301,708
		第7回(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保社債	400,000	411,147
		第29回(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ期限前償還条項付無担保社債	100,000	99,497
		第56回東京電力パワーグリッド(株)一般担保付社債	100,000	100,068
		第18回三井住友トラスト・ホールディングス(株)期限前償還条項付無担保社債	200,000	200,000
		第2回(株)三井住友フィナンシャルグループ期限前償還条項付無担保社債	200,000	200,000
		第80回日立キャピタル(株)無担保社債	100,000	98,349
第64回東京電力パワーグリッド(株)一般担保付社債	100,000	100,000		

投資有価証券	満期保有目的の 債券	第29回(株)みずほフィナンシャルグループ期限 前償還条項付無担保社債	200,000	200,000
		住友生命2023基金流動化(株)第1回無担保社債	200,000	200,000
		第66回住友商事(株)無担保社債	100,000	100,000
		丸紅(株)第117回無担保社債	100,000	100,000
		ソニーグループ(株)第41回無担保社債	100,000	100,000
		第18回N T Tファイナンス(株)無担保社債	200,000	197,152
		トヨタファイナンス(株)第103回無担保社債	100,000	100,000
		伊藤忠商事(株)第80回無担保社債	200,000	200,000
		(株)日本政策投資銀行第186回無担保社債	100,000	100,000
		東日本高速道路第114回一般担保付社債	100,000	100,000
		三菱重工業(株)第44回無担保社債	100,000	100,000
		九州旅客鉄道(株)第20回無担保社債	100,000	100,000
		東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5 年))第8回	200,000	200,000
		日本製鉄(株)第9回無担保社債(旧銘柄名:日 鉄住金物産(株)第2回無担保社債)	100,000	98,619
		政府保証第96回地方公共団体金融機構債券	100,000	99,085
		第24回(株)三菱UFJフィナンシャル・グルー プ期限前償還条項付無担保社債	100,000	97,840
		(株)三井住友信託銀行第35回無担保社債	100,000	100,000
		埼玉県第6回5年公募公債	100,000	100,000
	小計	6,100,000	6,116,269	
合計		7,100,000	7,119,393	

【その他】

該当事項はありません。

## 【有形固定資産等明細表】

資産の種類	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価 償却累計額 又は償却累 計額(千円)	当期償却額 (千円)	差引当期末 残高(千円)
有形固定資産							
建物	2,626,784	14,951	12,896	2,628,839	1,410,470	62,969	1,218,368
構築物	1,747,847	24,495		1,772,342	1,453,875	35,896	318,467
機械及び装置	622,410	52,175	8,054	666,531	534,708	28,077	131,822
車両運搬具	151,023	7,099	2,839	155,283	139,929	8,672	15,354
工具、器具及び備品	190,015	7,539	6,019	191,535	178,936	5,600	12,599
土地	2,018,549			2,018,549			2,018,549
コース勘定	1,008,013	2,513	222	1,010,304			1,010,304
建設仮勘定		37,713	37,713				
有形固定資産計	8,364,644	146,487	67,745	8,443,386	3,717,920	141,217	4,725,465
無形固定資産							
ソフトウェア	20,267			20,267	13,161	2,654	7,105
電話加入権	1,321			1,321			1,321
無形固定資産計	21,588			21,588	13,161	2,654	8,426
長期前払費用	5,052		2,601	2,450			2,450

(注) 1 有形固定資産増加額のうち主なものは次のとおりであります。

機械及び装置	豊岡散水用受水槽ポンプユニット	17,574千円
構築物	豊岡散水用受水槽	15,434千円
構築物	豊岡 9ホールグリーン奥カートパス新設工事	6,280千円

2 有形固定資産減少額のうち主なものは次のとおりであります。

建物	笹井クラブハウス受変電設備	9,344千円
機械及び装置	豊岡フロントロータリーモア	2,970千円
工具器具備品	笹井貴重品ボックス3台	2,535千円

【社債明細表】

該当事項はありません。

【借入金等明細表】

該当事項はありません。

【引当金明細表】

区分	当期首残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
賞与引当金	5,400	5,500	5,400		5,500
退職給付引当金	240,696	21,499	27,259		234,936
役員退職慰労引当金	13,011	1,788			14,799

【資産除去債務明細表】

該当事項はありません。

## (2) 【主な資産及び負債の内容】

## 資産の部

## イ 現金及び預金

区分	金額(千円)
現金	6,526
預金	
普通預金	311,512
定期預金	50,000
小計	361,512
合計	368,038

## ロ 売掛金

## 相手先別内訳

相手先	金額(千円)
株式会社ジェーシービー	25,258
ユーシーカード株式会社	32,078
その他	2,569
合計	59,906

## 売掛金の発生及び回収並びに滞留状況

当期首残高 (千円)	当期発生高 (千円)	当期回収高 (千円)	当期末残高 (千円)	回収率(%)	滞留期間(日)
(A)	(B)	(C)	(D)	$\frac{(C)}{(A)+(B)} \times 100$	$\frac{(A)+(D)}{2}$ $\frac{(B)}{365}$
58,379	1,251,150	1,249,623	59,906	95.4	17.3

(注) 上記金額には消費税等が含まれております。

## 八 商品

項目	金額(千円)
飲物類 (ジュース類、ノンアルコール他)	1,458
酒類 (ビール、日本酒、洋酒他)	1,548
菓子類 (チョコレート、羊羹他)	63
土産品類 (詰合せ、お茶他)	128
煙草類 (電子煙草他)	70
ゴルフ用品 (ゴルフボール、ゴルフウェア他)	10,102
計	13,371

## 二 貯蔵品

項目	金額(千円)
食事材料 (食堂用食材)	2,381
業務用品 (切手、印紙、サービス用消耗品他)	6,799
制服 (キャディ夏冬服他)	5,273
コース用品 (肥料、薬品、燃料、バンカー砂他)	9,663
賞品 (競技用賞品、コンペ贈呈用ボール他)	1,019
計	25,137

負債の部  
イ 買掛金

相手先	金額(千円)
株式会社芝正園	5,050
医療法人社団宏志会(豊岡第一病院)	2,419
株式会社ニューフジフーズサービス	2,238
丸大観光株式会社	1,968
株式会社大谷金太郎商事	1,758
大沼透(会報表紙絵画家)	1,480
関東食糧株式会社	1,432
明治堂印刷株式会社	1,272
株式会社エムアンドエス	1,228
その他	20,146
合計	38,995

ロ 会員預り金

項目	金額(千円)
個人正会員 (1,376名)	7,304,000
法人正会員 (230名 155社)	1,362,000
個人平日会員 (432名)	1,508,800
法人平日会員 (38名 28社)	142,400
家族会員 (83名)	83,000
その他 (30名)	111,200
合計	10,511,400

(3) 【その他】

該当事項はありません。

## 第6 【提出会社の株式事務の概要】

2025年12月31日現在

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	12月31日
株券の種類	1株券
剰余金の配当の基準日	定めなし
1単元の株式数	定めなし
株式の名義書換え	
取扱場所	当社総務課(埼玉県入間市大字小谷田961番地)
株主名簿管理人	該当事項なし
取次所	該当事項なし
名義書換手数料	無料
新券交付手数料	1株につき100円
単元未満株式の買取り	
取扱場所	定めなし
株主名簿管理人	定めなし
取次所	定めなし
買取手数料	定めなし
公告掲載方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし事故その他やむを得ない事由により、電子公告をすることができないときは、官報に掲載しております。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 <a href="https://www.musashi-cc.co.jp/">https://www.musashi-cc.co.jp/</a> (武蔵カントリークラブホームページ)
株主に対する特典	1株以上(各株につき1名)を有する者には当社とは別人格である武蔵カントリークラブへの入会申込をする権利が与えられます。
株式の譲渡制限	当社の株式は定款の定めにより譲渡が制限されております。

(注) 当社は単元株制度は採用しておりません。

## 第7 【提出会社の参考情報】

### 1 【提出会社の親会社等の情報】

当社には親会社等はありません。

### 2 【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に次の書類を提出しております。

#### (1) 有価証券報告書及びその添付書類

事業年度 第67期(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)2025年3月24日関東財務局長に提出。

#### (2) 半期報告書

事業年度 第68期中(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)2025年8月14日関東財務局長に提出。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の監査報告書

2026年3月19日

株式会社武蔵カントリー倶楽部

取締役会 御中

保森監査法人  
東京都千代田区

代表社員 公認会計士 稲葉 喜子  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 笹部 秀樹  
業務執行社員

### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社武蔵カントリー倶楽部の2025年1月1日から2025年12月31日までの第68期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社武蔵カントリー倶楽部の2025年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうかを注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

### 財務諸表に対する経営者及び監査役責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及

び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- 1 上記の監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。
  - 2 XBRLデータは監査の対象には含まれていません。